

毎月第1・第3日曜日発行 広報みたかはシルバー人材セン ターの会員がお届けしています。

発行:三鷹市/編集:秘書広報課 〒181-8555 三鷹市野崎1-1-1 法人番号:8000020132047

市役所電話(代表) **☎**0422-45-1151

ムページ /コン・スマートフォン用) http://www.city.mitaka.tokyo.jp/

携帯サイト

http://www.city. mitaka.tokyo.jp/i/

#### 今号の紙面から

風しん抗体検査と予防接種の 費用助成の対象者を拡大します …… 2面 「下連雀こでまり児童遊園」が オープンしました ……………2面 三鷹市職員を募集しています ……… 3面 平成31年度保育園などの入園申し込み …… 3面 市からのお知らせ …………… 11面から 2019年版「平和カレンダー」 …… 12面

## 「ふるさと納税」の影響で減収が拡大しています

# 「ふるさと納税」で 三鷹市のまちづくりを 《応援してください

生まれ育ったふるさとや被災地などのまちづくりを、「寄付」という形で応 援する制度である「ふるさと納税」。ところが、近年は「返礼品競争」が過熱 する状況が続き、大きな問題となっています。三鷹市では他自治体への「ふ るさと納税 | による市民税の減収が年々拡大し、財政運営に大きな影響を及 ぼしています。

市では、市民のみなさんからも「三鷹市へのふるさと納税」を広く募って います。みなさんの想いの込もった寄付が、三鷹の未来を創ります。

間企画経営課☎内線2113

#### ふるさと納税による市民税の減収額



平成30年度の減収額(約5億円)を 公共サービスに置き換えると・・・

●年間のごみ処理経費(※)

約46,000人分 (市の人口の約1/4)



●保育園の年間運営費(※)



三鷹市民が三鷹市に ふるさと納税をすると・

### 使い道を選べます

いただいたご寄付は、ご希望の事業に充てさせていただきます。また、他自治体への「ふるさと納税」と 同様に、税金の控除を受けることができます(右記)。

#### 学校教育・生涯学習の充実のために

都市の整備・自然環境の保全

潤いのある快適な都市空間の創出に活用します。

公共施設、インフラ基盤、公園・緑地などを整備し、

人間力と社会力を兼ね備えた子どもの育成に向けた学 校教育と、生涯学習をさらに充実するために活用します。 小・中学校のクラブ活動・部活動を含め、子どもたちの教 育環境を充実するための備品購入などに充てていきます。





小学校のクラブ活動の様子

#### 福祉・子ども子育て支援

乳幼児から長寿者まで、すべての市民が安心して生活 できる高福祉のまちづくりに活用します。

#### 平和事業の推進

戦争の記憶を風化させることなく、平和の尊さを次世 代に継承するための事業に活用します。

#### 環境にやさしい活動支援

新エネルギー・省エネルギー設備の導入支援や先導的 な環境活動の顕彰などに活用します。

建設から50年以上が経過し、さらなる耐震性の向上が 求められる市庁舎・議場棟等の建替えに活用します。

#### 三鷹市に ふるさと納税をしても 税金の控除を受けることが できます

収入などにより一定の上限がありますが、 寄付金額から2,000円を差し引いた金額が市 民税・都民税や所得税から控除されます。詳 しくは特設サイト(下記)をご覧ください。 問市民税課☎内線2342

#### 三鷹市へのふるさと納税は 特設サイトからが便利です

市ホームページの「ふるさと納税特設サイ ト」では、ふるさと納税の仕組みや使い道(左 記)などを詳しく紹介しており、クレジット カード決済による納付ができます(下記二次 元コードからアクセスできます)。

HP http://www.city.mitaka. tokyo.jp/furusato\_nouzei/



市長コラム

#### 新庁舎等の整備

# 10個年地域かアネーリンク・新り中原

地域ケアネットワーク・新川中原設立10周 年記念式典にて畑谷貴美子代表とともに

ケーブルテレビの広報番組「み る・みる・三鷹」では「市長のひ とことコーナー」を放送してい ます(放送時間は12面参照)。

フターで、ケアネットの取り組みが展開されています。どうぞお気軽にサロンや催しに参加してください。安心して住み続けることができる地域とするために、身近な地域の支え合いであるケアネットに参加していただくことを願っています。 立冬が過ぎて寒さが増し、火を使うことが多くなりました。皆様、火災予防にもご留意ください。

7つのコミュニティ住区の7つのコミュニティセ

できるときに相談できると下ネットが身近にあることは掛け替えのないことだと思います。

「コミュニティ創生」を位置付け、その取り組みの重要な一つとして、「地域ケアネットワーク」の充実と発展に取り組んでいます。
「地域ケアネットワーク」とは、地域福祉を担う民生・児童委員、社会福祉協議会といった地域自治組様、町会・自治会・住民協議会といった地域自治組様、町会・自治会・住民協議会といった地域自治組様、町会・自治会・住民協議会といった地域自治組様、町会・自治会・住民協議会といった地域自治組様、町会・自治会・自治会・住民協議会といった地域自治組様、町会・自治会・自治会・住民協議会といった地域自治組様、町会・自治会・自治会・住民協議会といった地域自治組が上の真地区での取り組みや障がい者の支援をしている団体などが連携し、まさに市民の皆様の暮らしを「お互いさま」「おかげさま」の「共助」で支える仕組みづくりです。
平成16(2004)年10月に最初に発足したのは、平成20(2009)年2月発足した「地域ケアネットワーク・新川中原(ケアネット・しんなか)」が設立10周年を迎えました(写真)。平成21(2009)年2月発展で変いてくださっています。特に、高齢者・障がい者や子育で中の皆様に寄り添い、気軽に集える「サロン」の開催、健康づくりのウオーキングや体操の会、クリスマス会などの季節の事業を催すことで、顔と名前が分かる信頼の事かい者や一般できるケアネットが身近にあることは掛け替えのないことだと思います。

皆様が地域で生き生きと暮らして



三鷹市長